



ReadersVoice 読者の広場

好いとお! 福津

読者の声を中心に、みんなと広報広聴係で作る新たな交流コーナーです。今回は広報ふくつのご感想を掲載しますが、来月号以降は、広報ふくつのご感想だけでなく、市政への御意見、ふるさと福津市への思いなども掲載できればと考えています。たくさんの声をお寄せください。過去の広報紙でいうと、談話室、みんなの広場、ヤングYONGやんぐ、みんなのよかモン、聞いちゃってんしゃい福津便、特集のその後などのコーナーを、少し拡充した感じと考えてもらえたらと思います。

広

報ふくつ11月号の水高マゴロの特集は表紙も記事も楽しかったです。高校生たちがはえ縄漁の実習をしているのを知りませんでしたし、ハワイ近辺まで行ってるなんてびっくりしました。(花見が丘/亀山/72歳)

あの特集では、普段笑顔の高校生たちが、撮影になると笑顔を見せられず苦労しました。逆に怖そうな漁師さんたちは、取材では明るく、いい笑顔を撮らせていただくことができました。

ま

ことに力のこもった高く深い特集で、とても良かった。写真が

今

今回の広報ふくつの特集は、たいへん良いと思いました。自分ながら障がい者のことを知らなすぎると思いました。例えばアトリエ夢工房がどこにあるのか、どんなパンを作っているのかなど、全く知りませんでした。福岡サンテラスや昭和学園のこともです。障がいのある人と接する

機会がないからだと思います。そこで一つ提案があります。30年前まで住んでいた埼玉県のある市では、新公民館とホールができた際、その一角にお弁当売場ができました。そこでは1人の健常者と2、3人の聴覚障がい者が働いていました。福津市に引っ越してきて、中央公民館ができたとき、そういう場所がないことが残念に思いました。いつか提案したいと常々思っています。それが、やっとそのチャンスがきたと思います。例えばですが障がい者施設のパンと飲み物とかをロビーで売ったりできないのでしょうか。(中央/E.K/83歳)

差別禁止条例の制定

0%
⑥ その他 9%

Q3 共生社会を実現するために何が重要だと思いますか(3つ選択)。
① 啓発活動 13%
② 相談支援窓口の充実 3%

③ 在宅障がい福祉サービスの充実 10%
④ 親が亡くなった後の居住地確保 19%
⑤ 生活安定のための年金や手当の充実 19%
⑥ 専門的に対応できる医療機関の充実 3%

⑦ 障がい児への早期療育指導 0%
⑧ 就労支援の充実や雇用の確保 16%
⑨ 配慮した公共施設や道路のバリアフリー化 10%

⑩ 災害時の避難方法の確立と場所の確保 3%
⑪ その他 3%

賃などいろいろと問題があるかと思えます。今すぐには無理でしょうが、障がいを持つ人にとっても住みよくなるように、一歩でも進むように検討、努力していきたいということでした。

取

材され、紙面に掲載されたことで、たくさんの方から声をかけてもらったり、お電話をいただいたりしました。障がい者のことを知ってもらってよかったですと思います。障がい者への理解が、今後更に深まる事を願っています。(西福岡/あすなろ/72歳)

それはよかったです。編集後記にも書きましたが、写真ダメ、本名ダメというかたも多く行き詰まっていた時期でしたから、明るく取材を受けていただいたときにはうれしくて、本当に助かりました。

い

つも「広報ふくつ」を拝読し、身近で有益な情報に感謝しています。今月の障がいの特集に一言申し上げたくてメールしました。「差別・偏見はいけません」「みんな仲良く」となどは心がくたくたと言いますが、今回の特集には実に心がかもっておりま。いろいろな人の言葉を登場させ、率直な気持ちを紹介されていました。その中の一人はなんと、御近所のかたではありませんか。言葉が身近に感じられ、実感となる瞬間でした。熱いものが伝わりました。まさに地元の広報紙。すばらしい。たったそれだけのことを申し上げたくて、書いてしまいました。毎日の取材や

編集、大変なことだと思いますが、くれぐれも御自愛ください。(花見の里/H.M) 褒めていただき、ありがとうございます。実は途中でくじけそうになりました。でも家族、事業者、支援者、市福祉課職員の積極的な協力のおかげで何とか発行することができました。身近に感じてもらえるよう多くのかたにインタビューしました。広報ふくつは、これからも人や地域に密着した特集を作りま。楽しみにしてください。

◆◆◆ この特集は発行直後から、「良かった」「感動して泣きました」との声を電話や窓口で30件以上受けました。「もっと深く、迫ったものにすればよかったのに」という類の声も3件受けました。その他にアンケート11通、感想のお手紙やメール

Q1 県や市などの役所や、会社やお店などの事業者が、障がいのある人に対して不当な差別をすることを禁止した障害者差別解消法が今年4月に施行されました。知っていましたか。
① 知っている 55%
② 知らない 45%

Q2 障がいを理由とする差別をなくすためには、何が重要だと思いますか。
① 市民への啓発活動 9%
② 事業所への啓発活動 0%
③ 学校教育で学ぶ機会の確保 36%
④ 障がいのある人となし人との交流の場 46%
⑤ 市独自の障がい者



✕

解で福津の24時間は、とても良かったです。写真がたくさん使われ、がんばっているかたたちの様子がよく分かりました。ユニバーサルデザインについての記事も掲載してほしいです。(中央/うめさく/47歳)

あ

まりよくなかった。「上から下へ」の印象が強く、市民(読者)参加型の活力が感じられませんが、もっと住民の苦情や疑問を掘りおこして、正面から回答や解決策などまで踏み込めば「読んでよかった」と感じるでしょう。それと、福津市に住んで思うことですが、駅前ロータリーは雨が少し降っただけで水たまりになり、歩きづら

いこと、この上ない。せめて水はけ改良の追加工事ぐらいはしてほしい。駅前には市の顔であらうに、恥ではないか。(日時野/種田/64歳)

皆さんが寝ている夜の時間帯や、会社勤めで不在にしている昼の時間帯など、知らない時間帯の福津市を知ってもらえたら、気づきになったらと組んだ特集でした。正月号ということもあり、確かに苦情よりも夢や希望を取材しています。しかし、多くの人にインタビューし、断られもしながらの苦労した24時間取材でした。ユニバーサルデザインの特集予定は今のところありませんが、さまざまな分野に関係しますので、機会があれば掲載させていければと思います。駅前ロータリーの話は市都市管理課に伝えています。

特

集のその後のコーナーで防災の記事がありました。自然災害は人ごとではありません。いつ、どこで起きるかわかりません。防災訓練に参加して、身体で覚えていくことが大事だと思えました。(福岡南/山口/82歳)

特集のその後は、熊本地震直後の広報ふくつ6月号に掲載した防災について、福津市のその後の防災訓練を写真掲載するとともに自助を呼びかけました。掲載した訓練の内、「古賀・福津合同開催防衛訓練」は福津市にとっても古賀市にとっても初めての取り組みで、2市の消防団と2消防本部が合同で訓練するという県内でも珍しい先進的なものでした。災害対策は「共助」の前に、まず「自助」です。自らが助かるための備えをしておきましょう。

い

み減量の記事はよかったです。時々ごみ減量の記事を出してほしい。(忘れた頃が効果あり)私は物を変身させるのが好きです。心が躍ります。例えば、不用になった物干し竿を緑のカーテンの支柱に使ったり、同じように不用になった押入れのスノコをウッドデッキにしたりしています。

話は変わりますが、私の住んでいる東福岡にはスーパードライがないので、1時間ほど歩いて遠くのスーパードライに、1か月

知って? 福津弁 Vol.1

どしが遊びに来るげな

どし?



(本木区) おやまるい 小山 瑠唯ちゃん

※解説は23ページの下

特集の中のインタビューで、不用な物を生まれ変わらせるリペアが得意な人の記事を掲載しました。へんなふみ台さんもりペアが得意なんですね。

住

紙について、初めて知りました。ごみ分別の学習会にも参加し

に、これからも取り組めますので、感想をよろしく願います。

お便り・投稿大募集!

「好いとお!福津」は皆さんといっしょに作るページです。21ページに掲載の市広報秘書課はがき、または、メールで受け付けます。お送りいただいた原稿は紙面の都合により加筆、修正、短縮する場合があります。応募多数の場合は選考しますので、掲載しないこともあります。原稿や写真は返却できませんので御了承ください。匿名を希望されるかたはその旨を明記してください。

問い合わせ 市広報秘書課広報広聴係
E-Mail: info@city.fukutsu.lg.jp
3・81113

各

地区の具体的な活動が見えないのが残念



て努力してきたつもりですが・・・。ちなみに我が家は半分くらいが雑誌ごみです。車がないと持っていけないことから、地域で回収ができればいいのになと思います。裏表紙の世界遺産への道も楽しみにしています。私も古墳群を歩きました。福津の宝として、もっと多くの人に知って欲しいと思います。(花見が丘/よっちゃん/61歳)

ごみの特集は、身近な問題であることから感想や意見を7通もいただきました。残念ながら、全ての感想や意見を掲載することはできませんが、担当部署の市うみがめ課には見せています。郷づくりの特集は3月号でした。広報の編集方針になるので、ちょっと長くなってしましますが、1日に発行する広報ふくつは企画読み物号と位置づけ、必ず特集を組むようにしています。そして表紙は、特集の扉と位置づけ連動させています。市長選は2月5日にありましたが、小山市長の任期が3月5日まで、原崎新市長の初登庁が3月6日でした。3月1日号の表紙に原崎市長を持つてくると特集と連動できない上に、任前にも関わらず役所に登庁している

内

容的には知りたいこと、必要なことが列記されていて、楽しく読んでいます。しかし、以前から気になっていたのが、表紙以外が単色(スミ)で印刷され

と勘違いされるのではと懸念し、就任や退任の挨拶を含め、表紙と連動させた特集を今月号にしました。もちろん、おっしゃるような選挙結果は大事です。私たちもそう思います。そこで、3月1日号のまちの話題で、通常よりも大きく取り上げたところですが、今月号の記事においても、もっと詳しくというかたもあるかもしれません。6月議会で所信表明があり、広報ふくつで取り上げたいと思っています。議会の内容については、市議会だより「ふくつ」で御確認いただければと思います。